

水戸啓明 6年ぶりV

PK戦で鹿島学園破る

全国
高校サッカー
大会

第92回全国高校サッカー選手権大会(読売新聞社後援)は17日、鹿嶋市の県立カシマサッカースタジアムで決勝戦が行われた。1-1のまま延長戦

▽決勝

水戸啓明	1	延長	0	1
鹿島学園	0	0	0	0
PK	7	6		

水戸啓明-鹿島学園 PK戦を制し、優勝を喜ぶ水戸啓明の選手たち



【水戸啓明】GK 雨宮 井沢 副部長 山田 辺川 山
【鹿島学園】GK 山本 主合 村居 津井 岡谷 成藤
【水戸啓明】DF 水黒 永会 川阿 富村 吉戸 石神
【鹿島学園】DF 川川 (71分) 阿部 (高柳) 山 (高柳) 山 (高柳) 山 (高柳)
【水戸啓明】MF 石橋 (8分) 石橋 (11分) 西谷 (51分)
【鹿島学園】MF 山本 (69分) 山本 (69分) 山本 (69分)

水戸啓明は、持ち味の細かいパスサッカーを展開し、1点を追う38分、ドリブルで仕掛けたFW石川のパスを、後方から駆け上がったきたDF阿部が受けてゴール前まで持ち込み、シュートを決めて追いついた。延長戦に入ると、シ



水戸啓明のFW石川がドリブルで仕掛けた。ゴール前まで持ち込み、シュートを決めて追いついた。

抜群の反射神経 ゴール死守

水戸啓明GK

黒子 兼汰 選手(3年)

両軍一人ずつ外し、8人目までもつれたPK戦。相手キッカーの右足に集中し、蹴る瞬間は「直感で飛んだ」。左側に手を思いっきり伸ばして体を投げると、ボールが吸い込まれるように手元に。ゴールを守り抜いたことを確認すると、歓喜の輪に飛び込んでいった。

「全力でボールに向かい、絶対に失点しない」。武器とする抜群の反射神経に自信を深め、全国の舞台でも大活躍を誓った。(児玉森生)

子ども神輿80年ぶり復活

行方・矢幡地域の核めざし

行方市矢幡地区で17日、子どもによる神輿が約80年ぶりに復活した。写真。「住民同士を結びつける新たな核に」と地区の人たちが神輿の購入費を出し合



須田ごどん 本社 土浦

い、初めて開いた「矢幡ふるさと祭り」で披露された。少子高齢化が進み、普段は静かな北浦湖畔がにぎわいに包まれた。

と、今年の県内の交通事故死者数は16日までで137人(前年同月72人)は、高年齢者の死者数は14日現在で全国ワースト2位(39



閉校した。地域の衰退に危機感を抱いた区長、消防団員らが、神社で長年使われてきたポロポロになっていた神輿に注目。「神輿を復活させ、購入費約100万円は住民が持ち寄り寄って工面し、宝くじの助成事業も活用した。17日午前9時半、地元市末広町の国道118号

サテライト水戸
松阪記念
本日も開催
0180-992-310

自動走行ロボット 街中で人探しに挑戦 自動走行するロボットが課題に挑戦する「つくばチャレンジ2013」が17日、つくば市で開かれた。大学など43チームが知恵を絞って作ったロボットが街中を走り回った。

ひき逃げ容疑で逮捕 水戸署は17日、水戸市末広町、会社員室俊典容疑者(31)を自動車運転過失傷害と道交法違反(ひき逃げ、酒気帯び運転)容疑で逮捕した。